

## 入力データ作成委員会

### 委 員

|         |                |
|---------|----------------|
| 野 村 征 司 | 高度職業能力開発促進センター |
| 浜 川 勝   | 兵庫職業能力開発促進センター |
| 本 田 雅 夫 | 埼玉職業能力開発促進センター |
| 宮 沢 祐 一 | 東京職業能力開発短期大学校  |
| 森 田 文 夫 | 中部職業能力開発促進センター |

### 委 員（事務局）

|         |               |
|---------|---------------|
| 鈴 木 弘 道 | 研修研究センター開発研究部 |
| 坂 本 龍 彦 | 研修研究センター開発研究部 |

# 序 文

職業人に要求される職業能力は、近年の技術革新の進展にともなう職務変化に逐次対応することが求められています。この変化に対応できる基礎能力を得るためにあるいは変化に迅速に対応するため、職業能力開発に大きな期待が寄せられつつあります。

このため、各指導員が訓練用の教材を自ら作成する機会が多くなってきており、このための支援を行うことが強く望まれて平成4年度に、職業訓練用教材データベース調査研究を行いました。この中では、加工・編集可能な全文型教材をデータとして、必要に応じて各指導員がそのままでも又は一部修正を行ってでも使用できることが有効であると報告されています。これを基に、今年度は、優良な教材ができるだけ短時間で作成するための支援ができるようなシステムの開発のため、「システム検討委員会」、「入力データ作成委員会」、「グループウェアによる教材作成委員会」を設置し検討致しました。このうち、全文型自作教材確保の試行を目的とした「入力データ作成委員会」の報告を本書にまとめました。

収集した自作教材の中には、既製出版物からの一部転用が全てのものについてあり、支援システムのデータとすることを前提とした場合、著作権問題をクリヤーする必要が生じるわけで、これを解決をすることが大きな目的でした。多くの関係者のご協力のもとに行いましたが、一部出版社等の著作権等の権利に関する考え方方が極めて厳格で、約30パーセントはクリヤーできず結果的にモデル教材として1冊のみが完成しました。

本報告書をもとに、広範囲に使用できる自作教材の作成を皆様方が工夫され、教材開発支援システムが完成したときのデータとして、活用させていただけるようご協力をお願い申し上げます。

なお、本報告書の作成は、当研修研究センター開発研究部第4開発研究室が主として行ったことを申し述べると共に、自作教材の提供と校正等にご協力頂いた方々に厚くお礼申し上げます。

1994年3月

職業能力開発大学校研修研究センター  
所長 城 哲也

**調査研究報告書No.74**  
職業訓練用教材開発支援システムの開発  
～入力データ作成委員会報告～

---

発 行 1994年3月  
発 行 者 職業能力開発大学校研修研究センター  
所 長 城 哲 也  
〒229 神奈川県相模原市橋本台4-1-1  
Tel 0427-63-9005  
印 刷 株式会社ワークワン

---